

# 「物価高倒産」 2025年度は55件、 「建設」は過去最多

累計での業種別最多は「製造」

## 東海3県・「物価高」倒産動向調査(2025年度)



本件照会先

猿渡 映一(調査担当)  
帝国データバンク  
名古屋支店 情報部  
052-561-4846(直通)

発表日

2026/04/20

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

東海3県(愛知・岐阜・三重)で、燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「物価高倒産」は、2025年度(2025年4月-2026年3月)に55件発生した。前年度(61件)を下回ったものの、高止まりが続いている。業種別では、2025年度は「建設」が最も多く、年度ごとでは過去最多となった。

※株式会社帝国データバンク名古屋支店は、東海3県(愛知・岐阜・三重)における燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「物価高倒産」の発生状況について調査・分析を行った。

集計対象:負債1000万円以上・法的整理による倒産(2026年3月末時点における判明ベース)

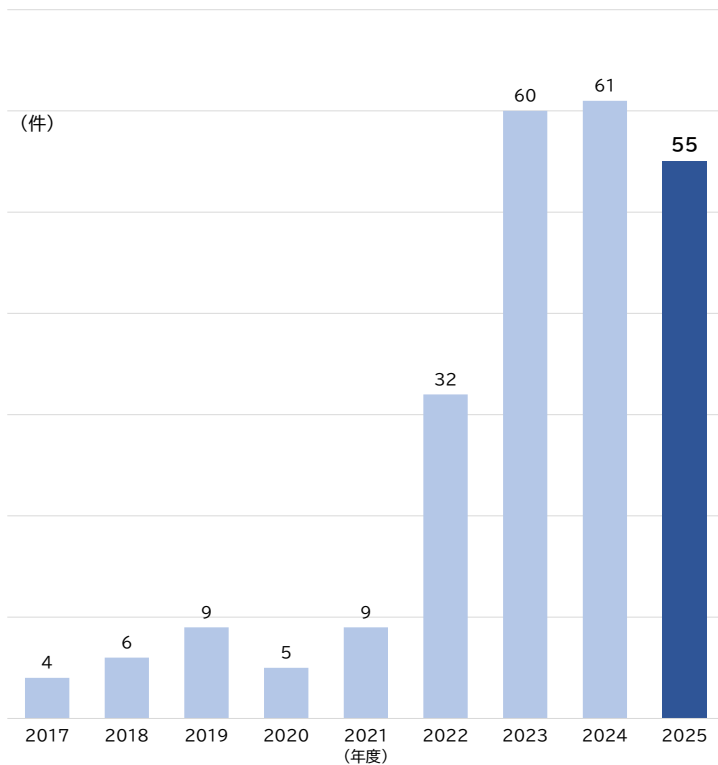
## 「物価高倒産」、2025年度は55件発生

燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「物価高倒産」(法的整理、負債1000万円以上)は、東海3県(愛知・岐阜・三重)で2025年度(2025年4月-2026年3月)に55件発生した。前年度(61件)からは減少したが、2023年度に急増して以降は高止まり傾向が続いている。

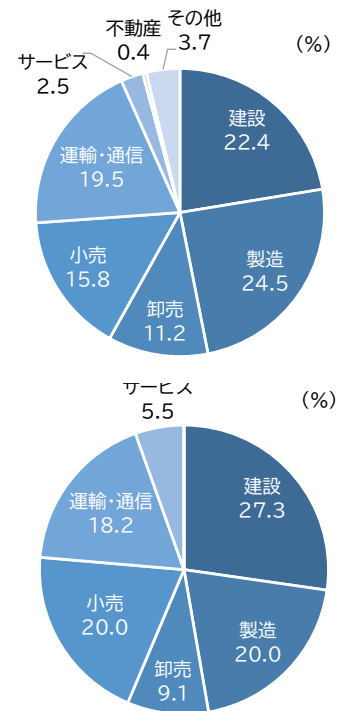
業種別では、集計開始以降の累計では「製造」が構成比24.5%で最多となったが、2025年度単年では「建設」(同27.3%)が最も多く、5年連続で増加した。資材高の一方、多重構造による価格転嫁の難しさが「物価高倒産」の増加要因になっているとみられる。

### 「物価高倒産」の動向

「物価高倒産」の件数推移(年度ごと)



「物価高倒産」の業種別構成比  
(上段:累計 下段:2025年度)



※小数点以下第2位で四捨五入しているため合計が100にならない場合もある

参考:東海3県別の価格転嫁の実態

「多少なりとも価格転嫁できている」企業の割合の推移

	2023年7月	2024年2月	2024年7月	2025年2月	2025年7月	2026年2月	前回比
愛知	74.0	73.9	78.8	77.2	72.7	77.9	5.2
岐阜	82.7	75.2	81.4	79.6	78.3	78.9	0.6
三重	76.6	78.7	80.3	81.7	68.2	81.7	13.5

「価格転嫁率」(コスト100円上昇に対して販売価格に反映できた割合)の推移

	2023年7月	2024年2月	2024年7月	2025年2月	2025年7月	2026年2月	前回比
愛知	43.0	41.1	42.9	41.7	39.5	43.1	3.6
岐阜	48.8	43.0	45.9	40.2	40.9	42.1	1.2
三重	47.7	46.2	50.1	46.3	41.3	46.2	4.9

帝国データバンク:「価格転嫁に関する企業の実態調査(2026年2月)」より